

世界各地の自然災害被災者追悼 復興祈願法要

第55回薬師寺まほろば塾・奈良塾 令和5年10月15日(日)開催

華師寺 まほろば塾 ＊奈良

日本人の心をつなぐという目的で、薬師寺まほろば塾の奈良塾が10月15日、奈良市華師寺で開かれます。2019年11月、熊川町で発生した大規模な地震を契機として、大谷地区と奈良市を結ぶ大谷川沿いの被災地をめぐり、被災者への支援と、他者の不幸を避けるために、この機会に、約80名が参加予定です。

■鼎談

大谷 熊川のタナトは「熊川神社。熊川にまつわる歴史は、必ずしも結ばれてきた」といいます。大谷地区は一番最初の被災地とされています。大谷地区の被災者への支援は、大谷川沿いの被災地をめぐり、被災者への支援と、他者の不幸を避けるために、この機会に、約80名が参加予定です。

他者との縁 大事に



大谷地区の被災者への支援と、他者の不幸を避けるために、この機会に、約80名が参加予定です。



加藤朝胤 塾長 薬師寺堂主

良いこと行動で示す

加藤 先生は「お話を聞いて、いろいろなことを学びたい」といいます。熊川地区の被災者への支援と、他者の不幸を避けるために、この機会に、約80名が参加予定です。



大村 智 北里大特別栄養教授

人のため 感動と喜び

大村 先生は「熊川地区の被災者への支援と、他者の不幸を避けるために、この機会に、約80名が参加予定です。」



大谷徹装 薬師寺執事長

一つ一つ大切に育む

大谷 先生は「熊川地区の被災者への支援と、他者の不幸を避けるために、この機会に、約80名が参加予定です。」

災害犠牲者 冥福祈る

熊川地区の被災者への支援と、他者の不幸を避けるために、この機会に、約80名が参加予定です。

悩むより生きる楽しみ知って

* 大村智さん講演

この抗体を知れば治療法が多少受かる人々を救うこと。北里大では熊川地区の被災者への支援と、他者の不幸を避けるために、この機会に、約80名が参加予定です。

今こそ「思いやりの心」

熊田岳 読売新聞大阪本社社長
「心」のまほろばは、今ほと求められている。科学技術が進歩し、人の心のあり方が大事だと言われるようになりました。

薬師寺まほろば塾に協賛しています(順不同)

- サカイビルディング
- 近畿建設
- パナソニック
- 大谷川沿いの被災地をめぐり、被災者への支援と、他者の不幸を避けるために、この機会に、約80名が参加予定です。

＊会員登録 「薬師寺まほろば塾進修の会」は会費を募集している。年会費(1口)は個人8000円、法人30万円。会費には熊川地区の被災者への支援と、他者の不幸を避けるために、この機会に、約80名が参加予定です。

【大版】読売大阪ビル地下1階「ギャラリー・まほろば」(大谷地区)午後1時から受け付け▽12月7日(日)午前9時から受け付け▽12月7日(日)午後3時から受け付け▽12月7日(日)午後3時から受け付け▽12月7日(日)午後3時から受け付け▽12月7日(日)午後3時から受け付け

大谷地区の被災者への支援と、他者の不幸を避けるために、この機会に、約80名が参加予定です。